

# 令和6年度事業計画書

自 令和6年 1月 1日

至 令和6年12月31日

- |                 |         |
|-----------------|---------|
| I 国際交流に関する事業    | 1頁 ～ 3頁 |
| II 登録に関する事業     | 3頁 ～ 7頁 |
| III 引退競走馬に関する事業 | 8頁      |

## 令和6年度 事業計画

本財団は、競馬に係わる国内外の情報の提供および技術交流、軽種馬の登録ならびに競走を引退した馬（以下「引退競走馬」という。）への助成により、国際相互理解の促進、国内外の軽種馬の改良増殖、公正な流通の促進、競馬に対する信頼の確保および馬の福祉に寄与するため、以下の公益目的事業を実施する。

### I 国際交流に関する事業（公益目的事業1）

競馬を通じた国際相互理解の促進や技術向上に寄与するため、国内外の競馬に関する情報の収集・提供事業、競馬の技術などの海外との交流事業を実施する。

#### 1 競馬に関する情報の収集および提供事業

##### （1）海外競馬関連情報の収集および国内への提供

海外の競馬および軽種馬の生産などに関する定期刊行物・書籍などから、最新の話題やニュースを収集・翻訳・編集し、ホームページなどによって一般に提供する。

- ・「海外競馬ニュース」（毎週・ホームページ）
- ・「海外競馬情報」（毎月・ホームページおよび印刷物）

##### （2）わが国の競馬関連情報の海外への提供

ア わが国の競馬および軽種馬に関する最新情報の他、関係法令、競馬場、開催日程などの情報を、外国語版ホームページ（英、仏、中、韓）などによって一般に提供する。また、海外からの電子メール・電話などによる各

種問合せに対処し、情報を提供する。

イ 国際相互理解を促進するため、国内のG I レースなどの主要国際競走のライブ映像を海外に提供するとともに、関連する情報を外国語版ホームページなどによって一般に提供する。

## 2 競馬の技術などに関する海外との交流事業

### (1) 技術研修

#### ア 定期研修

アジア競馬連盟加盟国の競馬統括機関が公募・推薦した者を対象とし、わが国の競馬施行および軽種馬生産の全般にわたる定期研修（年1回、8名程度、12日間）を実施する。

#### イ 専門研修

アジア競馬連盟加盟国の競馬統括機関が公募・推薦した者を対象とし、わが国の競馬施行・軽種馬の生産・育成・獣医・装蹄・血統登録などに関し、専門知識の取得および技術向上を図る専門研修（年1回、5名程度、6日間）を実施する。

### (2) 技術指導

アジア地域の競馬発展途上国などの競馬統括機関、または公的機関の要請に応じ、当該国の軽種馬関連産業に従事する者を対象として技術指導を実施する。

### (3) 国際交流行事など

ア 海外の主要な競馬や開催などに関する情報をホームページによって一般に公開するとともに、必要に応じて主要な競走への登録などのサポートや現地への職員派遣などによりわが国からの遠征を支援する。また、わが

国の国際競走のために来日する報道関係者を支援する。

イ 令和6年8月から9月にかけて、札幌市で開催される第40回アジア競馬会議において、通訳業務をサポートするなど参加者が円滑に会議に臨めるよう支援する。

#### (4) 中国に関する事業

中国における競馬の発展を支援し、併せてわが国の競馬関連産業の発展に資することを目的として、中国からの研修生の受け入れ、日本からの指導者の派遣などを実施する。

## II 登録に関する事業（公益目的事業2）

国内外における軽種馬の改良増殖や公正な流通を促進するとともに、競馬に対する国民の信頼確保ならびに国際相互理解の促進に寄与することを目的とし、軽種馬の厳正かつ公正な登録および登録情報の国内外への提供などの事業を実施する。

### 1 軽種馬の登録事業

#### (1) 血統および繁殖登録

登録規程、登録規程実施基準に基づいて厳正に審査し、血統登録および繁殖登録を実施する。また、登録した軽種馬に対して登録証明書を交付する。

近年の生産頭数の動向を踏まえ、次の頭数を見込む。

ア 血統登録

区 分	品 種		令和 6 年の 申込見込み頭数	令和 5 年の 申込見込み頭数	増減
内国産馬	サラ系統	当歳	7,800	7,600	+200
		1歳	100	100	0
		計	7,900	7,700	+200
	アラ系統	当歳	5	5	0
		1歳	0	0	0
		計	5	5	0
計		7,905	7,705	+200	
輸入馬			150	150	0

イ 繁殖登録

区 分	品 種	性	令和 6 年の 申込見込み頭数	令和 5 年の 申込見込み頭数	増減
血統登録 済みの馬	サラ系統	雄	30	30	0
		雌	1,100	1,000	+100
		計	1,130	1,030	+100
	アラ系統	雄	1	1	0
		雌	2	2	0
		計	3	3	0
輸入馬	雄		5	3	+2
	雌		130	130	0
	計		135	133	+2

血統および個体識別の明確化を図るため、血統登録申込馬のすべておよび繁殖登録申込馬のうち必要な馬に対し、毛根検体によるDNA型検査を実施する。令和6年度のDNA型検査による親子判定および個体識別（遺伝子改変検査、芦毛の遺伝子検査を含む）の検査頭数は9,325頭が見込まれ、これらの検査は公益財団法人競走馬理化学研究所に委託する。

## (2) 馬名登録

馬名登録実施基準に基づき、迅速かつ適正に審査・登録を実施する。近年の血統登録の動向を踏まえ、次の件数を見込む。

区分	見込み件数		増減
	令和6年	令和5年	
馬名登録	7,630	7,600	+30
馬名変更(内数)	150	150	0

## (3) 登録業務に関する専門的知識・技術の研修など

登録審査委員の養成のほか、登録全般に関する知識・技術の習得を必要とする者に対し、軽種馬の登録全般に関する知識・技術の習得及び維持・向上などを目的とした研修・講習・講演などの実施、ならびに競馬主催者などが実施する技術研修会などに講師を派遣する。また、研修などに必要な教材などの作製・配布を実施する。

## (4) 軽種馬へのマイクロチップ埋込推進および円滑化など

軽種馬へのマイクロチップの埋め込みに要する費用を負担した生産牧場などの飼養者に埋め込みに要した費用の一部を補助するとともに、埋め込みを起因とする傷病の発生状況の調査などを実施し円滑化を図る。

## 2 血統登録などの情報提供事業

### (1) 軽種馬の登録情報などの提供

血統登録、馬名登録などの各種情報をホームページなどによって一般に公開する他、競馬主催者団体、軽種馬生産者団体およびマスコミなどに提供する。

## (2) 血統書の発行

登録した軽種馬を国際基準に基づき和文血統書（サラブレッド、その他の品種）、欧文血統書（サラブレッド、アラブ）に登載し、ホームページなどによって国内外の一般に公開する。

## (3) 軽種馬統計などの発行・公開

ライフステージ別の統計データ、輸出入などのデータを取りまとめ、「軽種馬統計」を発行する他、統計データをホームページによって一般に公開する。

## (4) 個体情報の提供

血統登録した馬に対しては、「馬の健康手帳」に貼付する個体確認書を交付する。

# 3 海外の血統書統括機関との連携事業

## (1) 国際血統書委員会（ISBC）への参画

8月に札幌で開催されるISBC年次会議に、アジア・オセアニア地域代表として出席し、血統登録の要件などの国際基準を確認する。また、国際間の血統書承認に関する諸案件などを協議する。

## (2) アジア・オセアニア血統書委員会（AOSBC）会議の主宰

AOSBC事務局として、令和6年8月、札幌市で開催される第17回AOSBC会議を主宰する。

## (3) 承認を希望する国の調査・指導・査察

ISBCのアジア・オセアニア地域代表として、新たに血統書の承認を希望する国の調査、血統書承認国に対する現地査察や業務指導を実施する。

#### (4) 軽種馬の輸出入などに関する事務

##### ア 輸出証明書などの交付

軽種馬の輸出入に当たり、国際基準に基づく当該馬の輸出証明書および  
個体識別手帳（パスポート）の交付・受領などの業務を、相手国の血統書  
統括機関との間で実施する。

##### イ 馬名の承認に関する事務

国際基準に基づいて、出生国の承認が必要となっている馬名に対しては、  
相互に審査を実施し、馬名の登録および変更を承認する。

#### 4 登録事業に関するシステム関係事業

##### (1) 登録事業ネット化開発（7年計画の3年目）

全国各地の軽種馬の所有者がインターネットを利用し、各種の報告書を簡  
単に提出できるようにシステムを構築する。

##### (2) オープンシステムの改修

令和5年まで5年計画で開発したオープンシステムと登録事業ネット化  
開発で開発するシステムの結合を行い、ネットから報告された情報の更新を  
行うなど、オープンシステムの利便性を高めるための改修をする。

##### (3) システムの適切な管理・運用

競馬主催者および生産者団体などとの競馬情報および登録情報の安定し  
た送受信を図るため、システムを適切に管理・運用する。



### Ⅲ 引退競走馬に関する事業（公益目的事業3）

一般市民に引退競走馬と触れあう機会を提供し、馬の魅力を伝えるとともに、豊かな人間性の涵養と競馬に対する国民の信頼確保に寄与することを目的とし、引退競走馬の繋養展示活動への助成および情報提供などの事業を実施する。

#### 1 引退競走馬の繋養展示活動への助成事業

##### （1）繋養展示活動への助成

競走、繁殖、乗馬などの経済活動を終えた高齢の引退競走馬のうち、競馬の発展に貢献した名馬を繋養展示する所有者に対し、対象馬の飼養費などに係る経費の一部を助成する。

##### （2）馬名プレートの提供

繋養展示する施設を訪問した一般市民に対し、助成対象馬の情報を分かりやすく伝えるため、展示施設に馬名、血統、毛色、競走成績などを表記したプレートを提供する。

#### 2 引退競走馬の情報提供事業

ホームページやパンフレットにより、引退競走馬の近況や繋養展示する場所などの情報を一般に提供する。